栃木県市町概要

矢板市

公式サイト　URL https://www.city.yaita.tochigi.jp/

■市花　レンゲツツジ

■市木　ナツツバキ

■市鳥　キジバト

市町類型	1－1	R2 年国調人口		31, 165人
財政力指数（R 元～R3 平均）	0. 636	住民基本台帳（R4.3.31）	人口	31, 188人
職員数（R4.4.1）	252人		世帯数	13, 231世帯
職員 1 人当り人口	124人	面積（㎢）		170. 46

■沿革

矢板市付近は、古くは「しほのや」と呼ばれ、奈良時代から平安時代にかけての大和文化と山岳仏教の北限の地であったと思われる。平安後期になると、「塩谷氏」が興り、秀吉による改易までの約 400 年にわたり、塩谷荘 33 郷を制した。この後、塩谷氏の遺領の一部は「岡本氏」が継承し江戸時代を迎えるが、50 年ほどで改易、矢板地方 33 か所は佐倉藩など3藩の領地と 20 余の旗本知行所に細分化され、分割統治が明治まで続く。この間、現市街地を横断して開設された「日光北街道」の問屋、宿場を中心に物資集積の地として発展の基礎を築いた。昭和 29 年 12 月 31 日矢板町は旧野崎村大字沢、成田、豊田を編入、翌年1月1日矢板町、泉村、片岡村が合併し、矢板町となり、同 33 年1月1日に市制を施行し、平成 30 年に市制施行 60 周年を迎えた。

■地勢

県の北東部に位置し、県都宇都宮から 32.2km、東京から 141.8km の距離にあり、東西 11.6km、南北 24.2km でほぼ長方形をなし、県全面積の約 2.66%にあたる。北部には、日光国立公園の一部である高原山連峰があり、この山系よりに南に大小の河川が流れ肥沃な大地を形成している。

■観光

日本の都市公園 100 選にも選定された「長峰公園」は、北関東有数のツツジの名所であり、4月下旬から5月上旬にかけて、約 5,000 本のツツジが咲き乱れる。また、高原山の標高 1,000～1,200m に広がる「八方ヶ原」では、5月下旬から 6月上旬に約 20 万本のレンゲツツジが見ごろを迎える。

一級河川宮川沿いにある「城の湯温泉センター」は、市民の憩いの場であると同時に、キャンプ場やマウンテンバイクコース、RV パーク等を併設した総合施設として県内外の来訪者から親しまれる施設となっている。

近年では、那須野が原開拓の歴史として「山縣農場」や「矢板のリンゴ」などが日本遺産に認定されたほか、八方ヶ原の「おしらじの滝」がLINEトラベル.jpの旅人大賞を受賞した。

■産業

農業：

農業は、米作を中心に果樹、施設園芸、酪農、畜産等の多角経営が進められ、林業は豊富な資源の中で木材や特用林産物の生産が盛んである。

工業：

東北自動車道矢板ICに直結している矢板南産業団地があり、東北と首都圏を結ぶ中継地点として良好な立地環境となっている。近年は、好条件に伴い企業の進出が進んでいる。今後も、積極的な企業誘致の推進を図りながら、産業基盤の確立や、地域経済の活性化、就業機会の確保などに努めていく。

商業：

中心市街地のにぎわい創出のため、空き店舗等を活用した開業の支援や、商工会と連携したイベント等を実施するとともに、優れた地元商品を「やいたブランド」として認証する取組などを進めている。

■その他特徴のある事項

国道4号や東北自動車道矢板IC、令和2年度末に供用開始した矢板北スマートIC、JR東北線の駅（矢板駅・片岡駅）を有し、優れた公共交通基盤を活用した住宅団地及び工業団地を整備し、定住基盤強化、企業誘致活動を進めている。さらに、「やいた創生未来プラン」の実現に向けて、市民との協働によるまちづくりを目指した各種施策を推進している。

市役所の西側に、道の駅やいたを活用した交流人口増加の取組や、2050 年ゼロカーボンシティ宣言を行うなど、各種施策に取り組んでいる。

また、スポーツ交流人口の更なる増加や、市民の健康づくりを進めるため、AI、5G 通信を活用した未来技術を導入した文化スポーツ複合施設を「とちぎフットボールセンター」敷地内に整備し、市内外から人を呼び込み地域経済の活性化を図る取組を行っている。これについては、令和6年度開業を目指し、施設を建設中である。

■施政方針

本市の将来像に「『未来へ』～みんなで創る新時代」を掲げ、豊かな自然を大切にしながら矢板の良さを生かして、市民や行政、様々な主体が協力し合い、SDGs（持続可能な開発目標）、Society5.0、新しい生活様式などを踏まえた新時代に適応したまちを創り、矢板市の未来へつなぐことができるよう、各種施策に取り組んでいく。

■重要事業

事業名	予算額（千円）	事業の概要
林業人材確保育成事業	16,600	林業振興を目的に、令和4年度から配置する地域おこし協力隊（林業振興）3人を活用し、市有林・市管理林道や森林経営管理制度に基づく、市が受託する森林の管理活動、農山村での事業継承の可能性調査などに取り組みます。 また、地域林政アドバイザー 1人を増員して、地域おこし協力隊員（林業振興）の資質・技術向上を図ります。
消防団活動事業	42,300	火災や自然災害から市民の生命・財産を守る消防団の活動を支援し、消防団員の増強を図るため、活動しやすい環境整備や団員教育に取り組みます。 今年度から火災や災害時などの出動手当の増額や、消防車両全車にバックモニター付ドライブレコーダーを配備していきます。
国民体育大会推進事業	203,200	10 月に開催される第 77 回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」の成功に向けて、市実行委員会を中心に機運醸成を図ります。 本市は、矢板運動公園を会場にサッカー（少年女子）と軟式野球（成年男子）を実施します。 全国から選手や関係者をお迎えする準備として、運動公園内駐車場・園路の舗装修繕や周辺市

		道などの整備を行います。
体育施設整備事業	810,900	市文化会館・市体育館などを集約した「文化スポーツ複合施設」の令和6年度開業に向けて整備を進めます。令和4年度は、建設予定地であるとちぎフットボールセンター内で、本体建設・外構整備などに着手します。 市民が集う地域活性化の拠点や市外からの集客を図る観光拠点としての機能をもたせるなど、最先端のデジタル技術を備えた施設として様々な事業の展開を予定しています。
健康ポイント事業	7,900	市民の健康づくりの動機付けや運動習慣の定着を促進し、健康寿命の延伸と健康なまちづくりを実現するため、日ごろのウォーキングや市が主催する運動教室などへの参加、定期的な健康診断の受診など、健康づくり活動に対してポイントを付与します。 貯めたポイントは市内で使える商品券への交換や、市の子育て支援施策への寄附に利用することができます。
地域公共交通運行事業	38,300	予約に合わせて相乗りで運行する「デマンド交通」と、中心市街地を定期的に循環する「中央部循環路線」を運行し、地域公共交通の利便性の向上を図ります。 また、コリーナ矢板・玉田地区で運行する地域共助型生活交通「コリンタ号」に対する支援を行います。

■「ふるさとづくり事業」等のまちづくり事業について

市内の行政区が自主的・主体的に行う地域の課題解決を図る活動に対して補助を行うほか、各地域の実情に合った将来像を形成するための矢板ふるさと支援センター（TAKIBI）を設置するなどして、住民の自主的な地域づくりを支援していく。また、「小さな拠点づくり」への取組を推進する。

■地域指定の状況について

- 地方拠点都市地域
- 農村地域工業等導入促進地域
- 振興山村地域（旧泉村）